

みどり復興アクションプログラム



(写真左)1月23日恒例となった「防災シンポジウム」が長岡造形大学で開催されました。基調講演は台湾大学の陳亮全教授の「台湾大地震の復興報告」で、中越の復興に多くのアドバイスをいただきました。そして、7月23日～26日には長岡視察団の一行(理事長も参加)15名が台湾の被災現地を視察。(写真下)

(写真下)10月19日～22日東京日比谷公園でガーデンショー開催。東京の緑の仲間の友情で「震災復興メッセージブース」を用意いただき、支援のお礼を兼ねみどりの復興支援活動や、特産品をアピール。



■ ■ ■ 災害につよい街づくり 防災シンポ参加 ■ ■ ■

(写真下)10月20日「災害につよい街づくり」長岡商工会議所を会場に全国造園関連5団体(造園業・コンサル業・日造連・公園施設・植木業)による「造園・環境緑化産業振興会」が主催。国交省・新潟県・長岡市が後援、180名の参加で盛り上がりました。



■ ■ ■ 緑の防災シンポ 仙台にて開催 ■ ■ ■

(写真下)11月16日、日造協東北総支部の主催で「いのちを守る緑・いのちを育む緑」のテーマで防災シンポ開催。後援は国交省・宮城県・仙台市など。250人収容の会場は満席の盛況ぶり。阪神淡路と中越震災の事例報告と緑の重要性について真剣に討論されました。



地域に住む皆さんと共働り、ふるさとを再生したい。
棚池の試験植栽では、苗を育てる段階から山古志の皆さんと共に汗を流しました。

■ ■ ■ みどり復興 ワークキャンプ in 山古志&小千谷 ■ ■ ■



8月27日から三日間、みどり復興アクションプログラム委員会の主旨に賛同した全国の造園コンサルタント協会や日本造園建設業協会を始めとする造園のプロ集団50名が中越地震被災地を訪れました。今私たちに何が出来るのか「何をすべきか」という視点でワークキャンプを開催しました。二日目は被災地での試験植栽現場にも足を運び補植作業を行うなど、活発な意見交換が展開されました。



長岡緑地環境協同組合が 産業廃棄物処分業の申請認可を取得 本格稼働へ弾み!